

こだわり米の生産・販売を核とした地域活性化プラン

事業実施主体名	有限会社田舎屋	住 所	智頭町
プラン認定日	平成19年12月6日	プラン期間	平成19年～平成23年

1 プラン内容

(1) 概要

遊休化が進む地域の農地を借り受けることにより農地保全に貢献するとともに、特別栽培米の作付など消費者のニーズに応じたこだわりの米づくりに取り組んだ。

(2) 取り組みポイント

- 遊休化した農地の借入れによる面積拡大を図り、地域の農地保全に貢献する。
- 特別栽培米の生産販売を推進し、所得向上と環境負荷軽減を図る。
- 経営の拡充により、地域の雇用創出を図る。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H19	精米機 (タイワABS-50) 無洗米機 (カンリウMC200) 白米選別機 (IS601) 氷温施設 (3坪型-冷却ユニット2基)	3,965	1,321	661
H20	米色彩選別機	1,926	643	321
H21	トラクター (26PS)	2,826	942	471
合 計		8,717	2,906	1,453

2 プラン実施状況

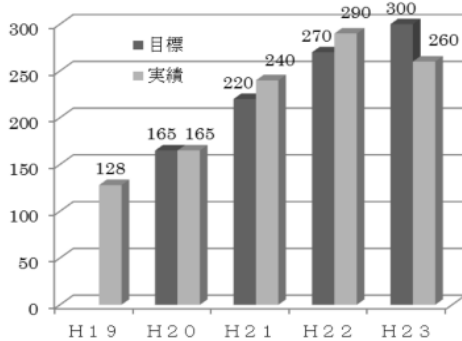
(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状 (H23年度)
労働力 (雇用)	10人 (延べ)	90人 (延べ)
経営内容・規模	水稲栽培：128a 野菜栽培：4a 水稲作業受託：128a 精米販売：3,000kg ホンモロコシ生産販売：300kg	水稲栽培：260a 野菜栽培：30a 水稲作業受託：100a 精米販売：10,500kg ホンモロコシ生産販売：350kg

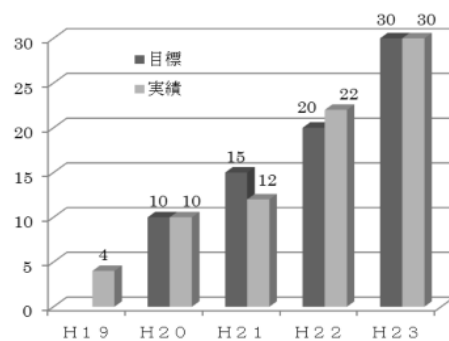
(2) 成果

1 目標と実績

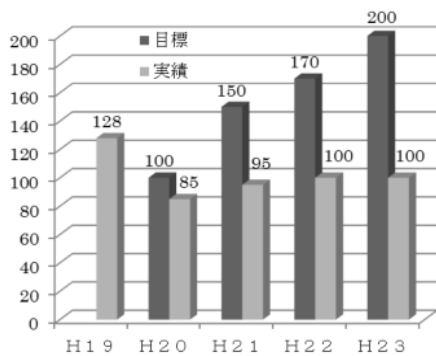
㊦ 特別栽培米作付面積 (アール)



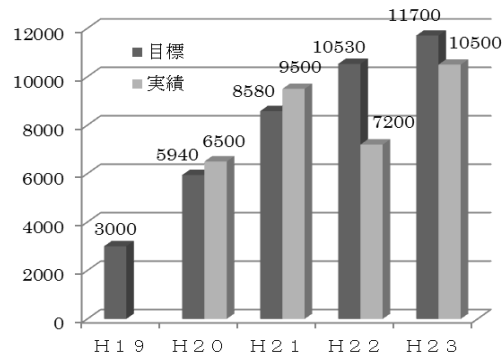
㊦ 野菜類作付面積 (アール)



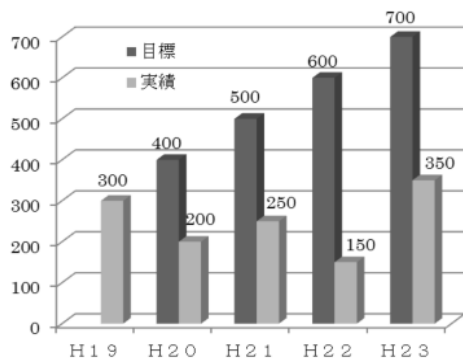
㊦ 水稲作業受託面積 (アール)



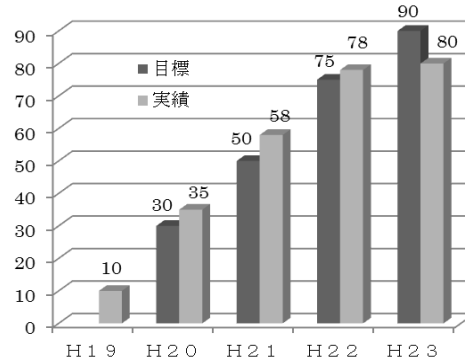
㊦ 精米販売数量 (キログラム)



㊦ ホンモノコ販売数量 (キログラム)



㊦ 臨時雇用者数 (延べ人数)



2 経営改善の実績

- 水稲作付面積及び精米販売量については、概ね目標を達成した。
- 水稲作業受託面積及びホンモノコ販売数量は目標比50%にとどまった。
- 精米はインターネット販売の他、鳥取市内のスーパーマーケット等の販路を確保した。

3 産地の活性化状況 (栽培面積、生産量)

- 智頭米ブランド化検討会が立ち上がった (平成22年11月)。
- 智頭町で米食味コンテストが開催されるようになった (平成22年度～)。
- 食味値83以上の米を「鳥取智頭米源流そだち」のブランド名で販売することとなった。
- 平成24年6月現在で、智頭町における特別栽培農産物(水稲)の作付面積が1.3haから5.3haに拡大した。

4 更なる経営発展方向

- 「鳥取智頭米源流そだち」としてのロット確保と販路開拓を進める。

[八頭総合事務所農林局]